

Euglena Group


# 2021年12月期事業進捗と 今後の中期展望

2022.03.26

**【留意点】**

当社は、2021年8月26日開催の臨時株主総会における承認決議により、決算期（事業年度の末日）を9月末から12月末に変更致しました。その結果、2021年12月期（第17期）は経過期間として2020年10月から2021年12月までの15ヶ月間の決算期となります。

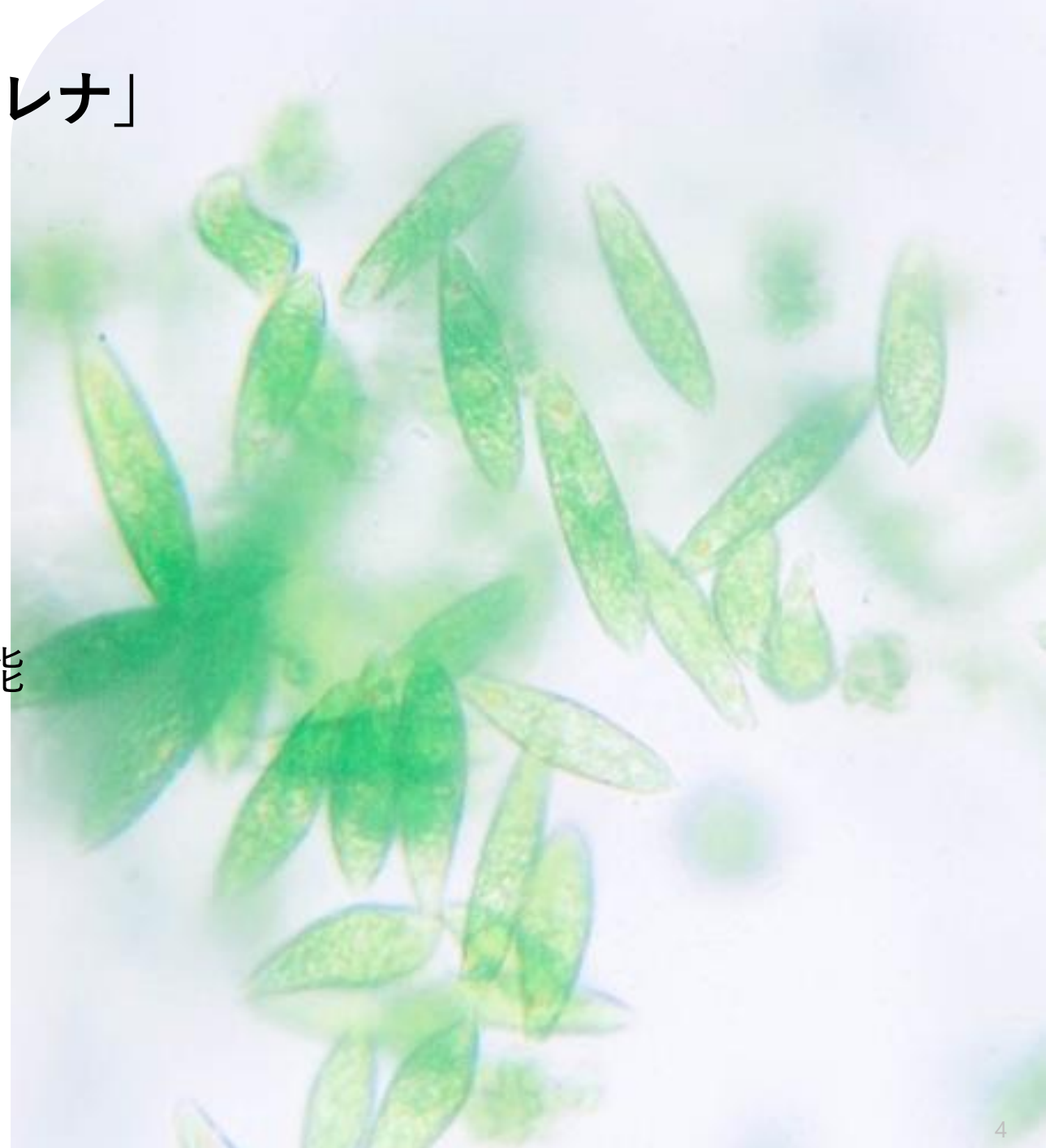
# ユーグレナ社の歩み

A group of people, including a woman in a white bucket hat and a man in a grey shirt, standing outdoors with children in a lush green setting. The image has a dark overlay with white text.

“バングラデシュで目のあたりにした栄養失調の問題を  
栄養豊富な食材で、解決したい。”

# たどり着いた当社独自素材「ユーグレナ」

- 豊富な栄養素と独自成分パラミロン
- ミドリムシからバイオ燃料が生産可能



# ユーグレナ社の歩み

2005

世界初ユーグレナ  
屋外大量培養成功



2012

東証マザーズ上場



2014

GENKIプログラム  
開始



2015

第1回日本ベンチャー  
大賞受賞



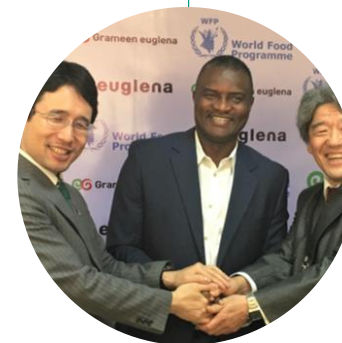
2018

日本初バイオ燃料  
実証プラント完成



2019

国内民間企業初  
WFPと事業連携

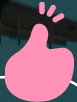



# 2021年12月期の振り返り

# ユーグレナ・グループにとって、 2021年12月期は飛躍の年に



バイオ燃料



キューサイ



業績

注：動画を放映 (<https://www.youtube.com/watch?v=FCuVdUtSKFk>)





## 当社バイオジェット燃料初フライト実現



2021年6月4日

国土交通省飛行検査機  
で初フライトに成功



2021年6月29日

民間機航空機で初フライトを実施

## 当社バイオディーゼル燃料の供給先拡大

→累計40社以上へ導入

### 海 船舶第2弾、名古屋港初



商船三井グループ運航船にて  
トライアル航行を実施  
2020年12月

### 陸 ガソリンスタンド初



都内ガソリンスタンドで  
一般消費者向けに販売  
2021年4月

### 陸 サステオ100%初使用



岡山スーパー耐久レースで  
マツダ参戦車両に導入  
2021年11月

## 2022年も当社バイオ燃料の供給先は更に拡大

→ 鉄道で初使用、フライト実績も増加

### 陸 鉄道車両初



JR東海と鉄道車両による  
実用性検証試験を開始  
2022年1月

### 空 定期旅客運送エアライン初



フジドリームエアラインの  
ジェット旅客機で初フライト  
2022年3月

### 空 航空測量業界初



アジア航測の双発機で  
航空測量業界初フライト  
2022年3月

飛躍 - キューサイ

## キューサイが当社連結グループに仲間入り

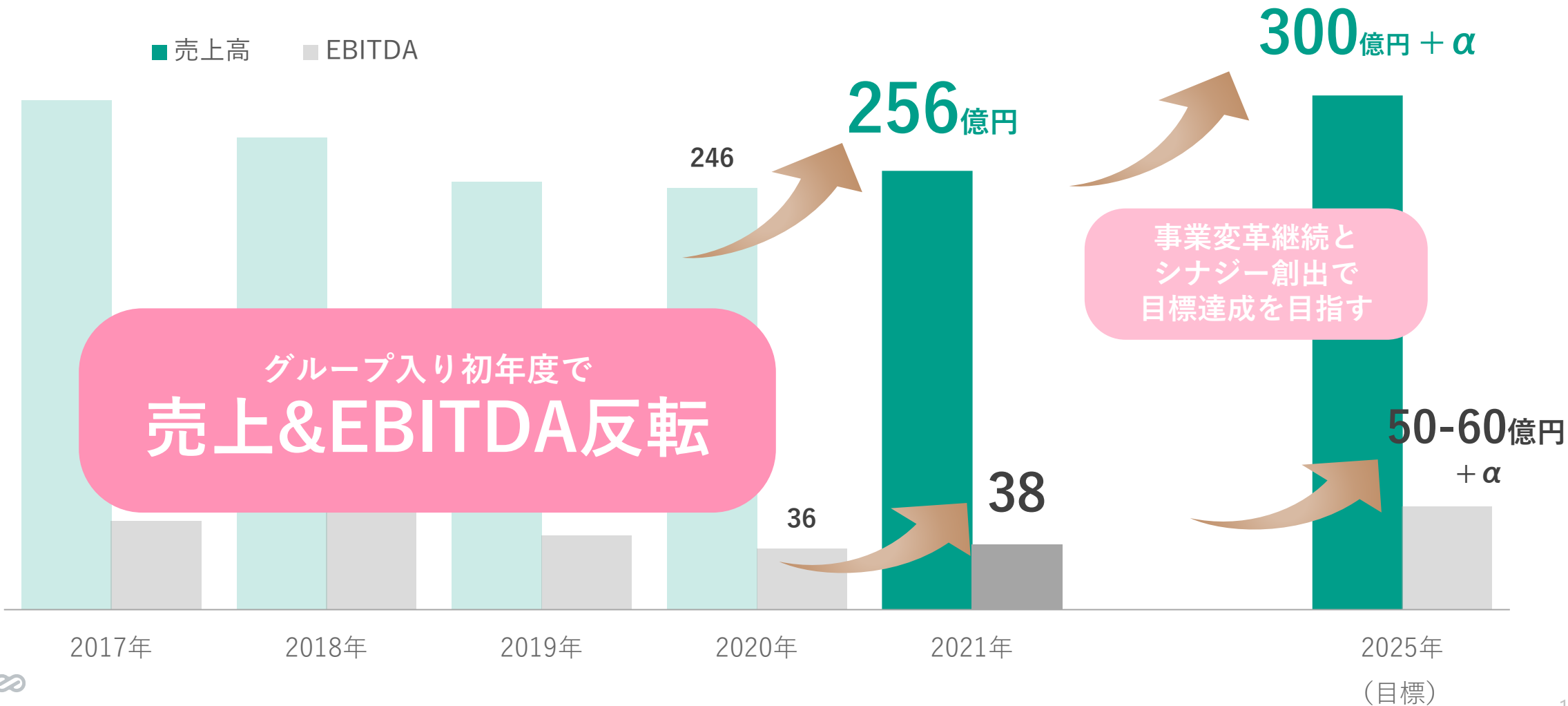
Q' SA I

- 56年の歴史
- 健康食品/化粧品の通信販売大手の1社
- 47万人の定期顧客



## 中期目標に向けて順調に進捗

■ 売上高 ■ EBITDA

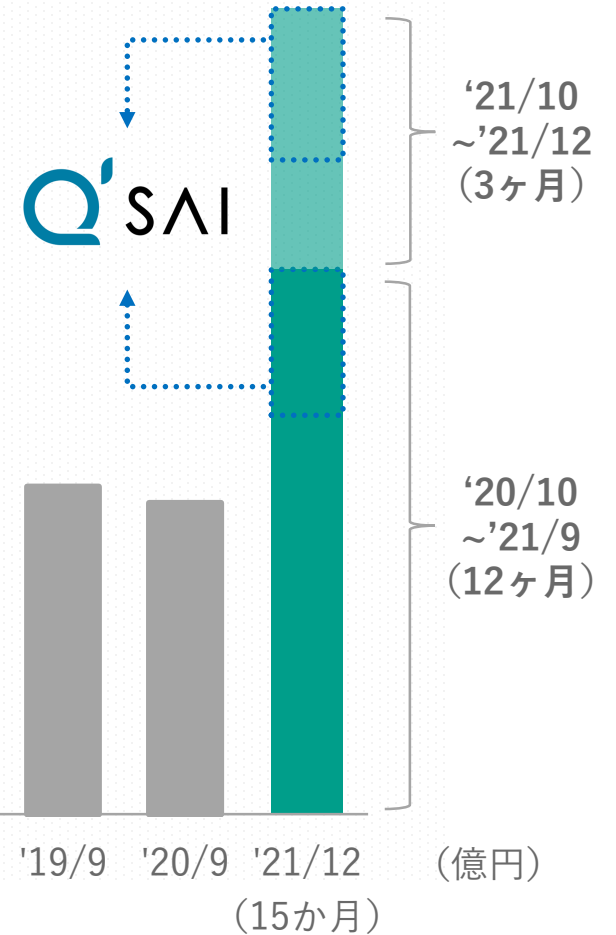


# 過去最高売上高を達成

3年でターンアラウンド完了

→キューサイ除く12か月ベースでも過去最高

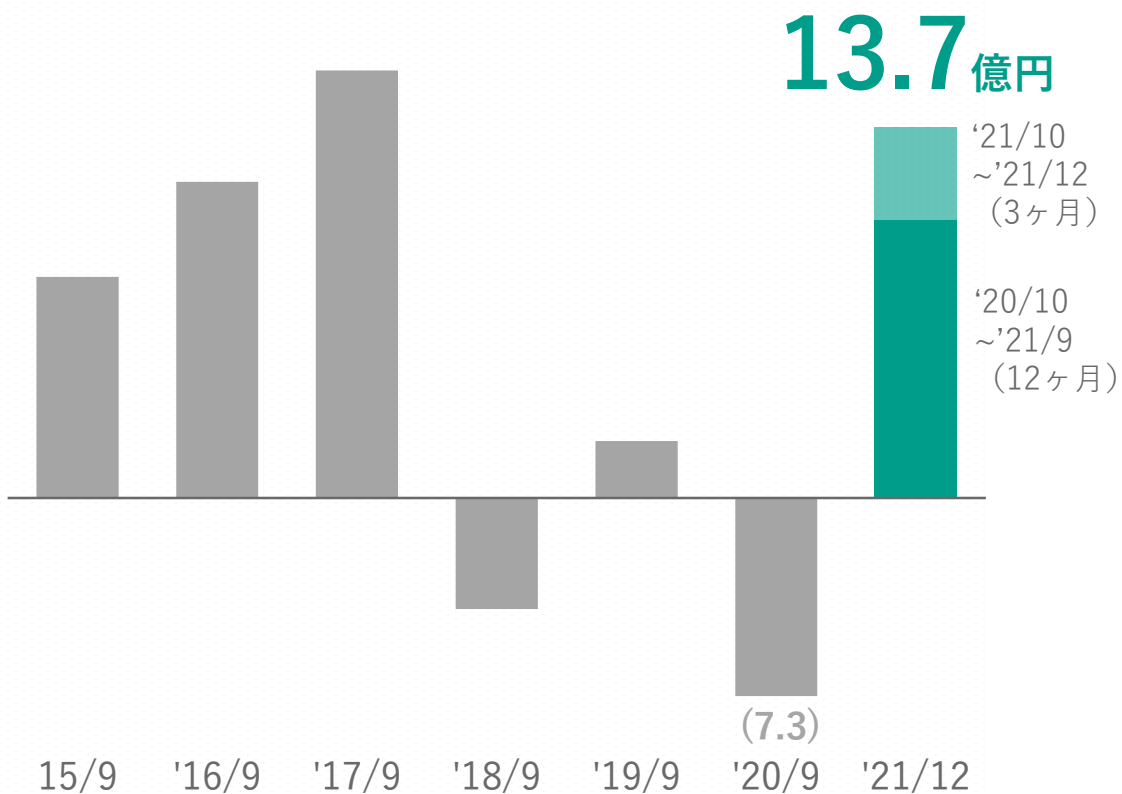
344億円



'05/9 '06/9 '07/9 '08/9 '09/9 '10/9 '11/9 '12/9 '13/9 14/9 '15/9 '16/9 '17/9 '18/9 '19/9 '20/9 '21/12 (億円)

# 飛躍 - 業績

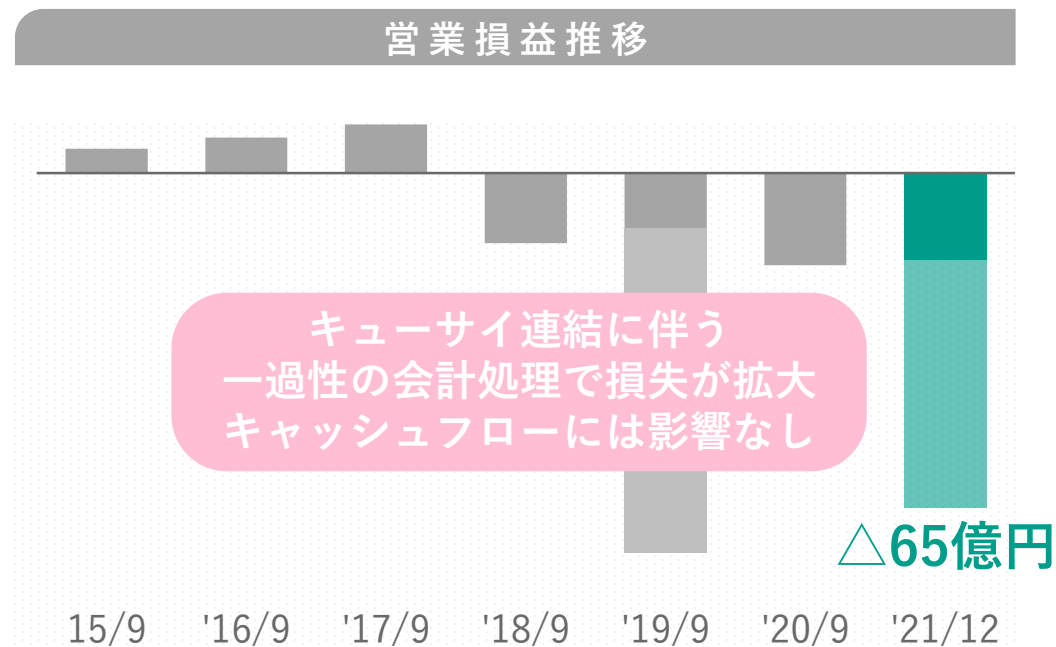
調整後 EBITDA 推移



当社キャッシュフロー創出力指標である

## 調整後 EBITDA も黒字化

営業損益推移



# 今後の中期展望



# ユーグレナグループが目指す姿躍

フィロソフィー（経営哲学）

## Sustainability First

サステナビリティ・ファースト

パーパス（存在意義）

## 人と地球を健康にする



社会的価値

## サステナビリティの推進

経済的価値

2026年度以降  
売上高1,000億円相当

# ユーグレナグループが選択する3つの事業領域

バイオ燃料  
領域



ヘルスケア  
領域



新規  
サステナ  
ビリティ  
領域

アグリテック



バイオインフォマティクス

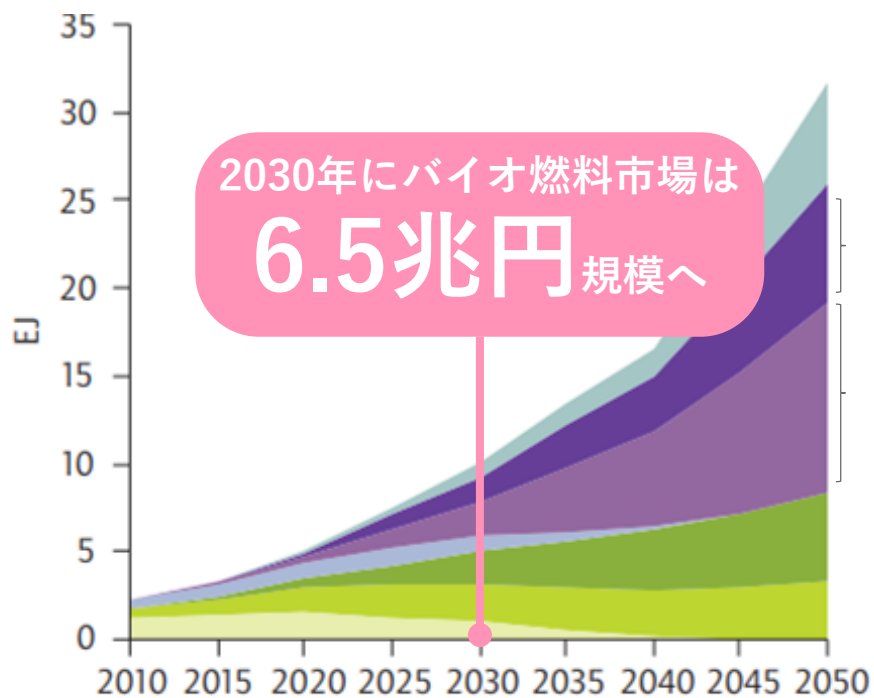


ソーシャルビジネス

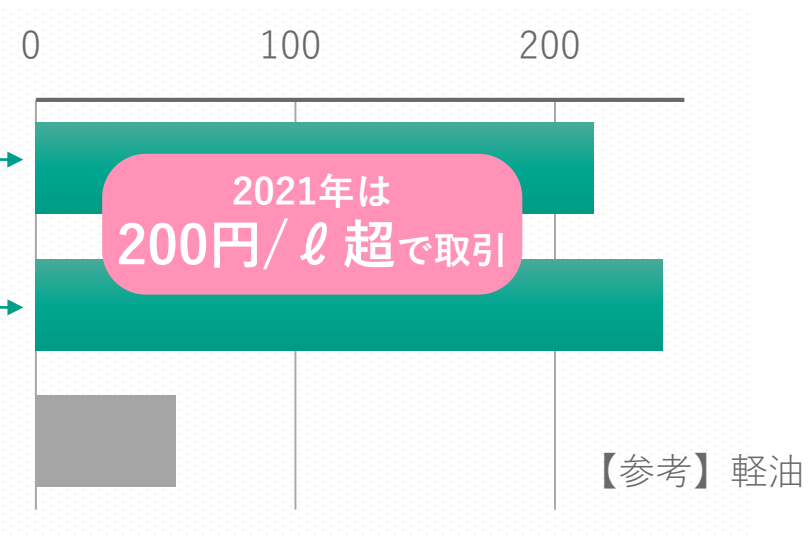


# バイオ燃料領域 - 約束された巨大成長市場

世界のバイオ燃料消費量の見込み (IEA)

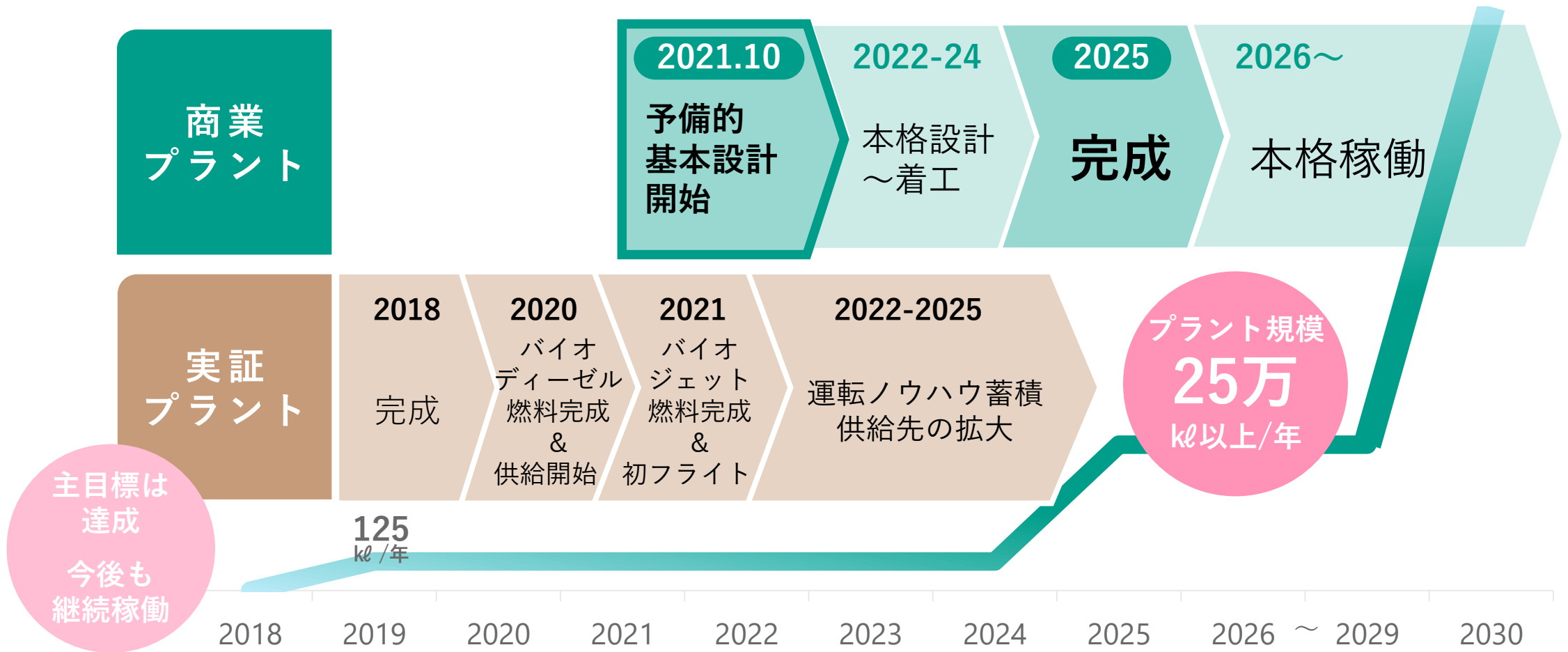


市場価格 (2021年平均)



# バイオ燃料領域 -商業化に向けた進捗と計画

2021年12月期事業進捗と今後の中期展望



# バイオ燃料領域 - 商業化時の収益ポテンシャル

売上高  
**500億円**  
規模

バイオ燃料価格  
200円/ℓ

×

年産25万kℓ相当

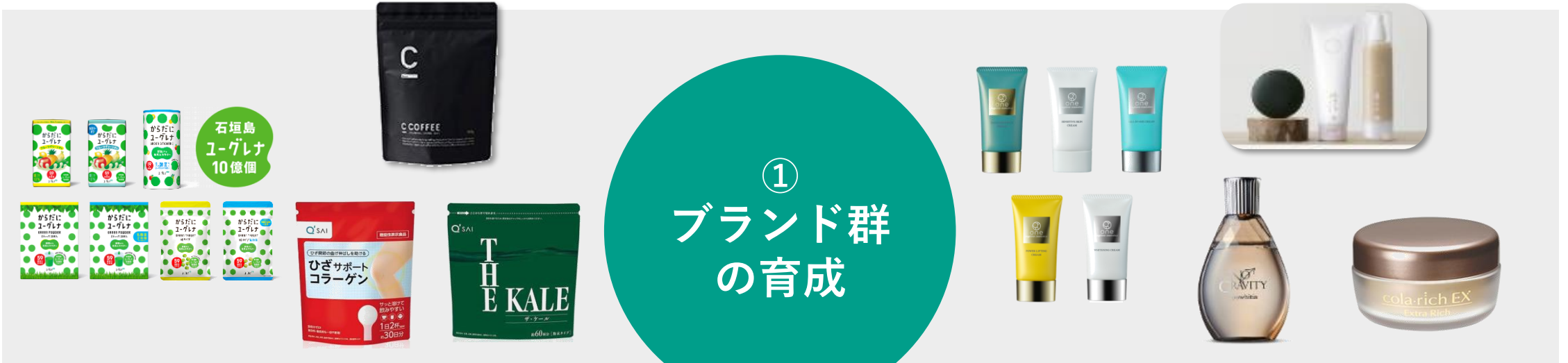
調整後 EBITDA  
**100億円**  
規模

EBITDAマージン  
20%以上



# ヘルスケア領域 - 成長戦略の3つの柱

2021年12月期事業進捗と今後の中期展望



①  
ブランド群  
の育成



②  
デジタル化

ユグレナ<sup>∞</sup>  
いきる、たのしみ、サステナブル。

③  
マルチチャネル  
展開



# ヘルスケア領域 - 1.ブランド群の育成

## 先進的市場創出

食品



機能性  
コーヒー

mej

ライン開発を更に推進

## サステナビリティ



石垣島  
ユ-グレナ  
10億個



ラインアップ追加

ユ-グレナ

## ウェルエイジング



Q'SAI



化粧品

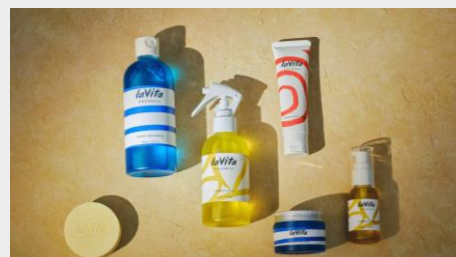
ユ-グレナ



2022年  
新規ローンチ

細胞培養エキス美容液

ユ-グレナ



COSMOS認証  
オーガニック化粧品



LIGUNA



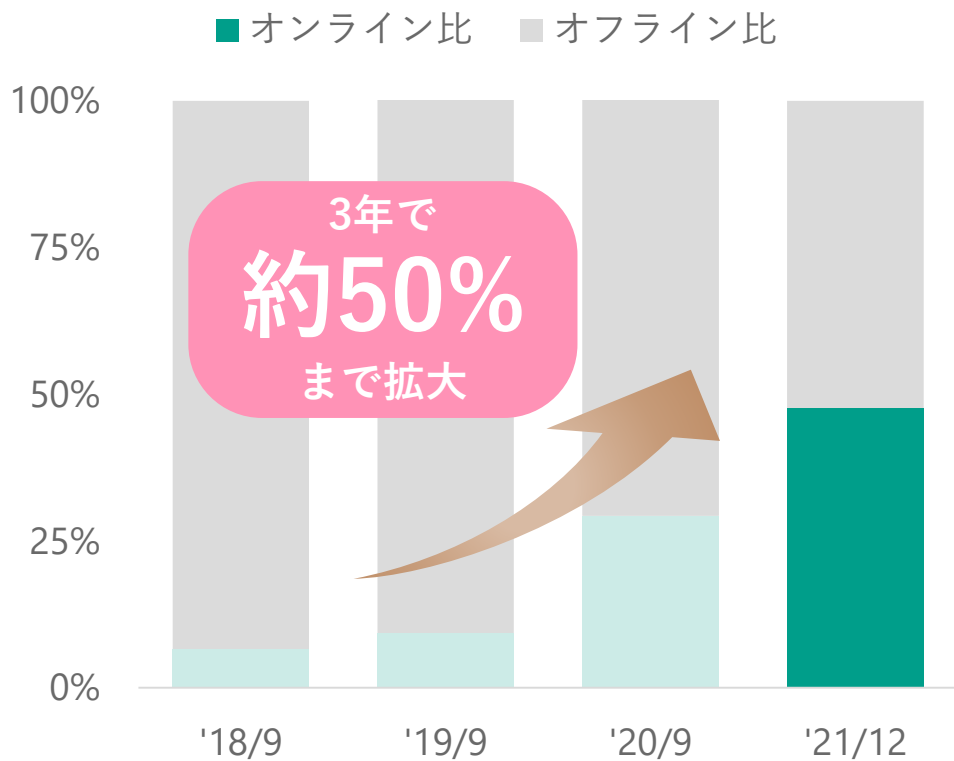
épauler



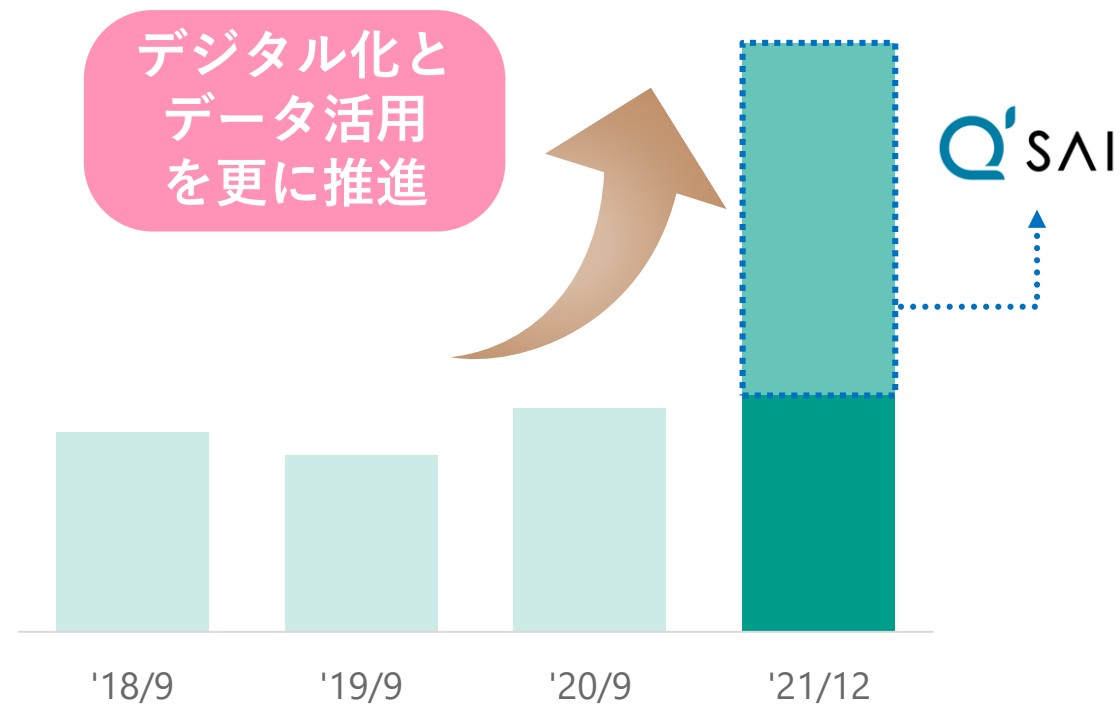
Q'SAI

# ヘルスケア領域 - 2. デジタル化

直販オンライン売上高比率（キューサイ除く）



直販定期購入者数推移



2021年12月期事業進捗と今後の中期展望



# ヘルスケア領域 - 3.マルチチャネル展開

自社商品

グループ会社商品

グループ共通で多様な流通チャネルへ展開

量販店



バラエティ



ドラッグストア

専門店

美容サロン

越境EC

マーケットプレイス等の  
新チャネル開拓にも挑戦

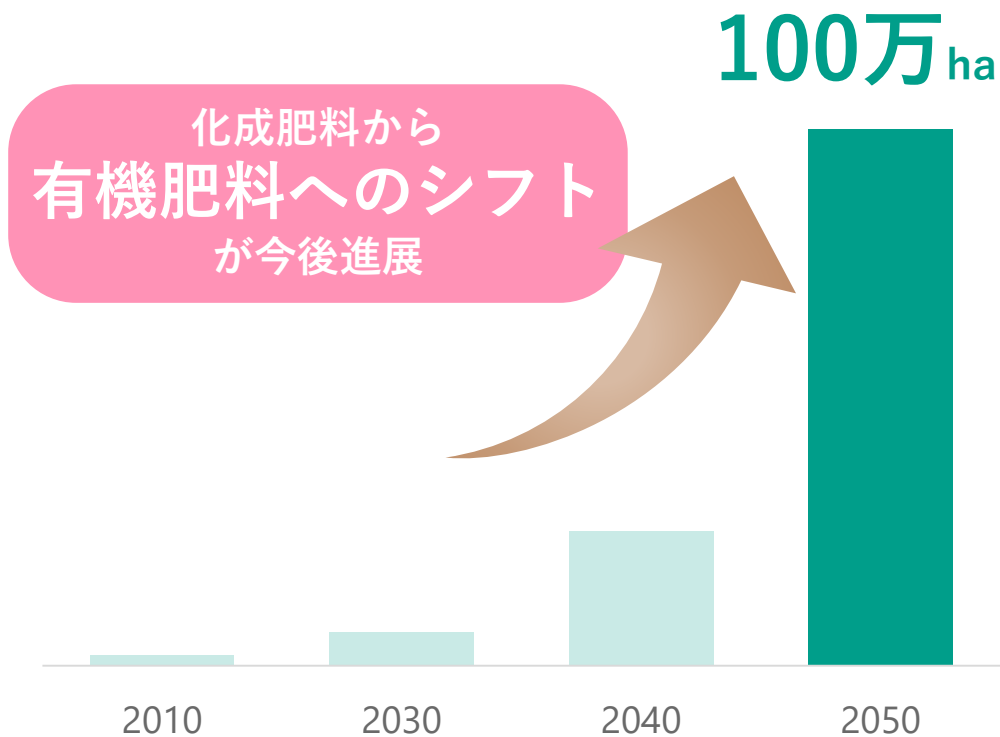
ソーシャルグッドな商品のマーケットプレイス

GoodGood Mart



# 新規サステナビリティ領域 - アグリテック

日本における有機農業の取組面積の推移予測



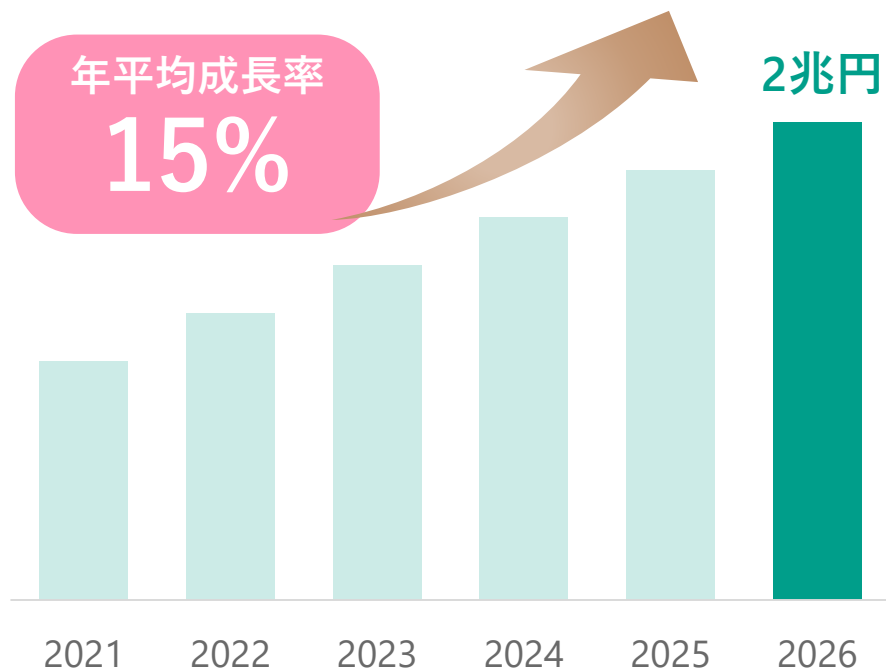
東大農学部発の研究開発力



有機肥料製造を強みとする  
大協肥糧がグループ入り

# 新規サステナビリティ領域 - バイオインフォマティクス

## バイオインフォマティクス市場予測

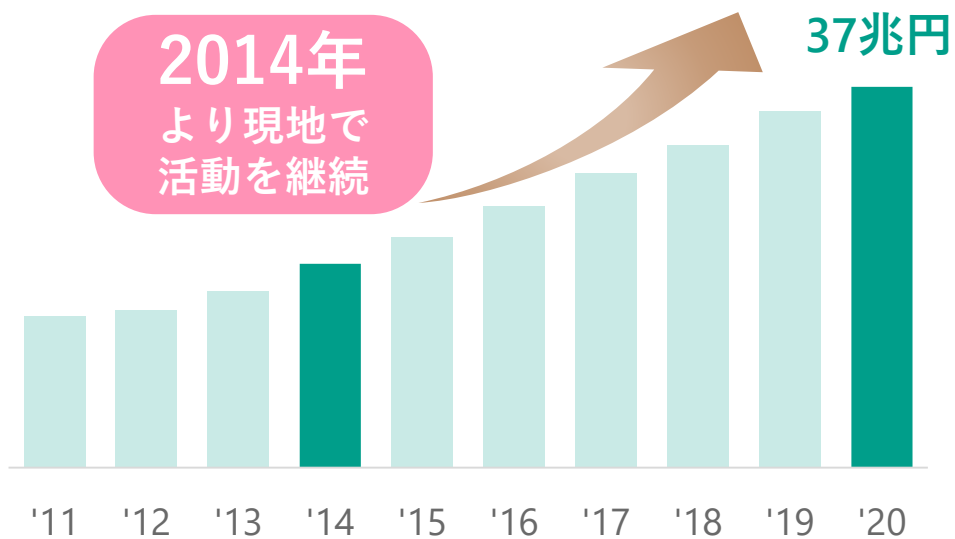


遺伝子データを分析し、製薬企業との  
**創薬研究に活用**



# 新規サステナビリティ領域 - ソーシャルビジネス

バングラデシュGDP推移



第5回ジャパンSDGsアワードで

**内閣総理大臣賞**を受賞



# 2022年12月期以降の見通し

# 2022年12月期以降の見通し - 売上高

- エネルギー・環境事業
- ヘルスケア事業（キューサイ）
- ヘルスケア事業（キューサイ除く）

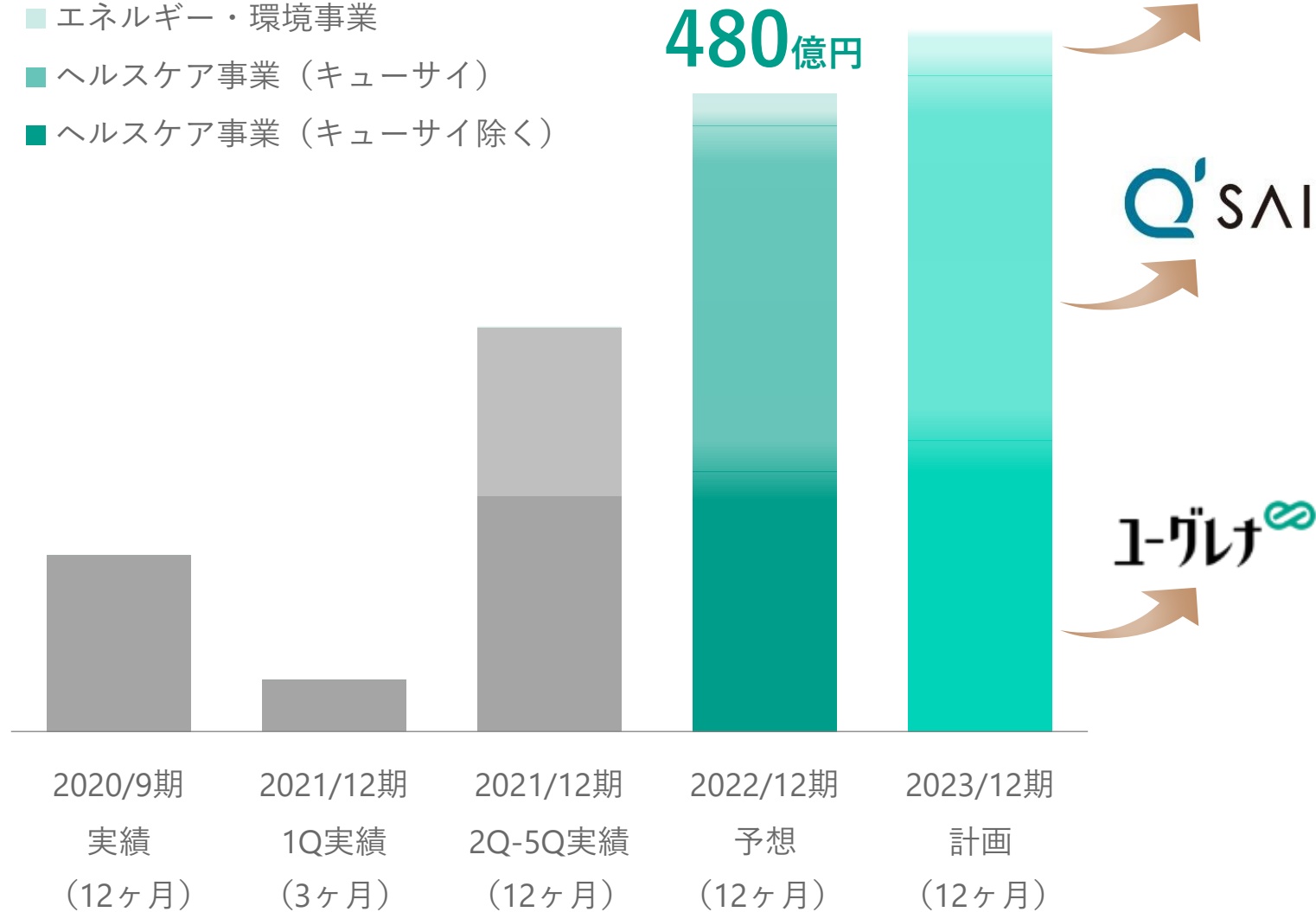
2022年度  
売上高予想

480億円

2023年度も

10%超成長

を目指す



# 2022年12月期以降の見通し - 調整後EBITDA

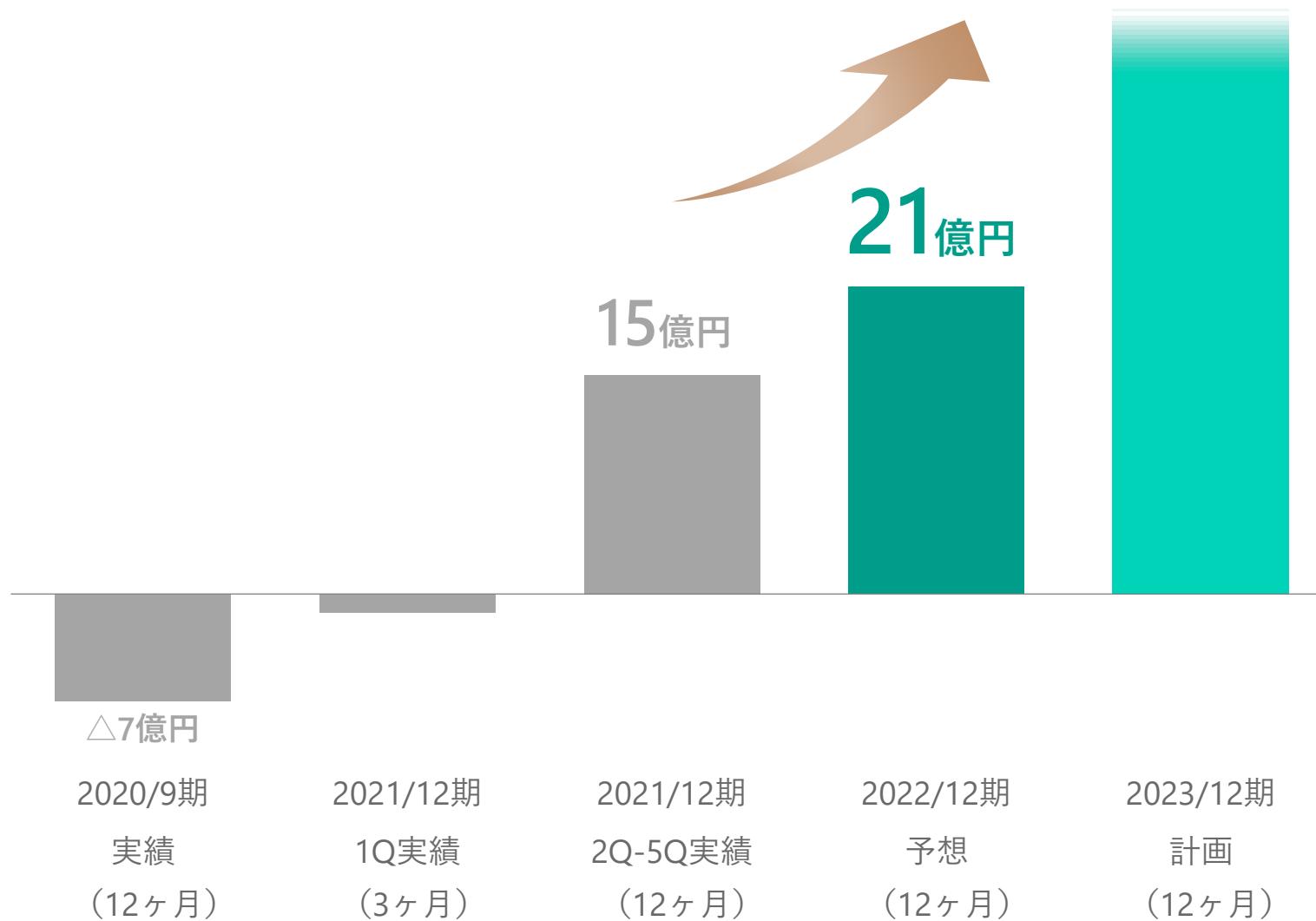
2022年度  
調整後EBITDA予想

21億円

2023年度に  
EBITDAマージンの

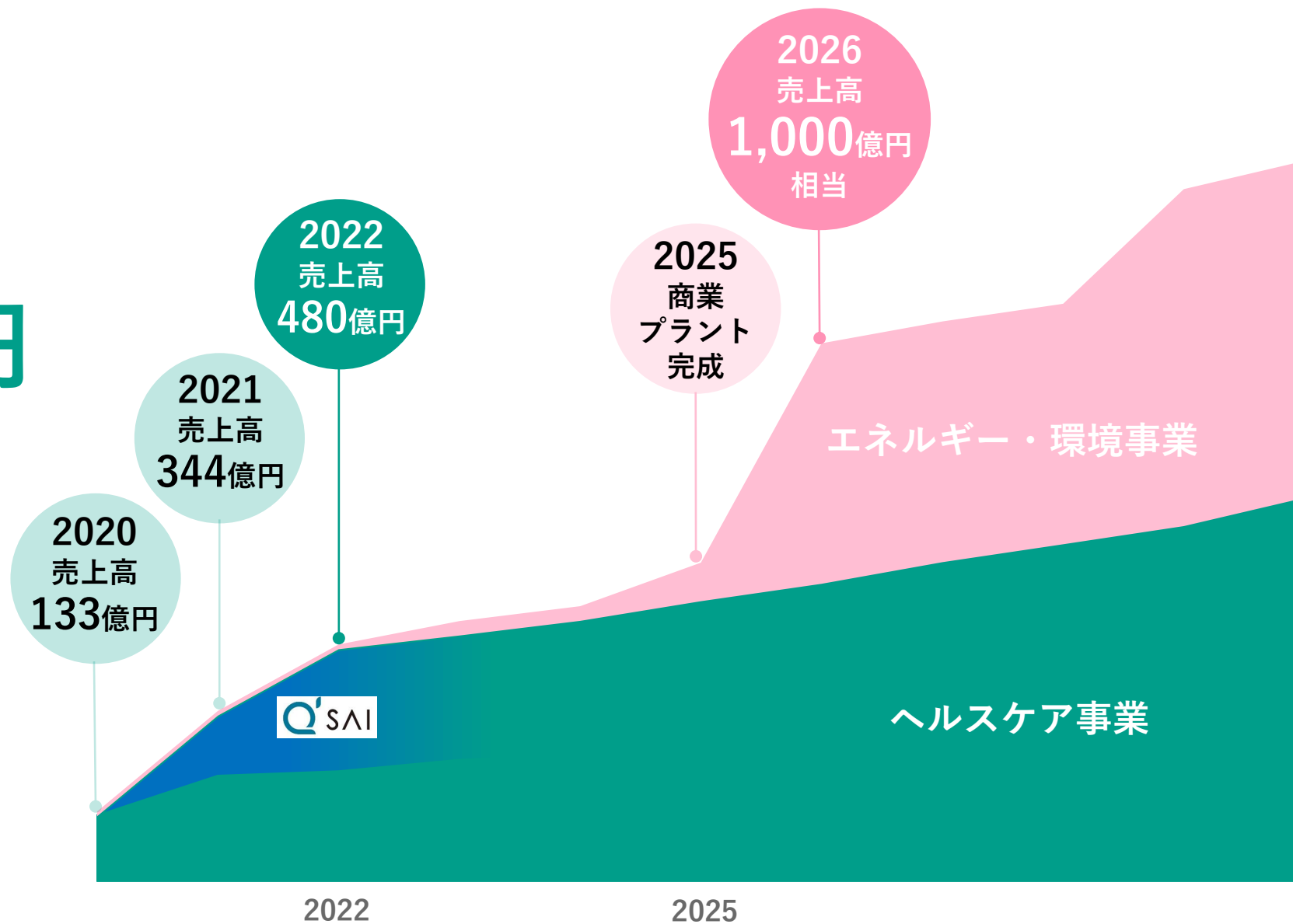
大幅改善

を見込む



# 2022年12月期以降の見通し -中長期的な売上高の成長イメージ

2026年以降、  
売上高は  
**1,000億円**  
相当へ





# Thank you

【留意点】

当社は、2021年8月26日開催の臨時株主総会における承認決議により、決算期（事業年度の末日）を9月末から12月末に変更致しました。

その結果、2021年12月期（第17期）は経過期間として2020年10月から2021年12月までの15ヶ月間の決算期となります。